

平成 31 年 3 月 13 日
農林水産部水産振興課

報道機関各位

ぎんけ
銀毛サケ資源の造成にかかるサケ稚魚放流について

海面漁業者から資源造成の要望が強く商品価値の高い「銀毛サケ」を増やすため、サケ稚魚 100 万尾を月光川水系のふ化場から最上川へ輸送放流します。放流については下記のとおり実施予定ですので、お知らせします。

つきましては、当日の取材についてよろしくお願ひします。

記

1 真室川（鮭川）

日時：平成 31 年 3 月 18 日（15 時～16 時）

尾数：30 万尾

場所：真室川（新橋付近）

漁協：最上漁協（0233-62-2078）

2 最上小国川

日時：平成 31 年 3 月 18 日（12 時～13 時）

尾数：30 万尾

場所：舟形川（アユ中間育成施設付近）

漁協：小国川漁協（0233-32-2892）

3 寒河江川

日時：平成 31 年 3 月 22 日（10 時～11 時）

尾数：40 万尾

場所：寒河江川（溝延橋下流の左岸）

漁協：最上川第二漁協（0237-72-2274）



（上）秋に沿岸漁獲されるサケのうち成熟度が低く、鱗の銀白色の多いものを「銀毛サケ」と呼び、脂がのって美味、単価も 1,500 円/kg 以上の高値で取引される。

（下）河川に遡上する直前または遡上したサケは「ブナサケ」と呼ばれ、脂が抜け、身色も白くなり商品価値が低くなる。

※放流日時・場所は予定であり、変更になる場合もありますので、詳細は漁協までお問い合わせください。

《お問い合わせ先》

農林水産部振興課 課長補佐（水産企画振興）

加賀山 祐（TEL 023-630-3330）

[報道監] 農林水産部次長 高橋 雅史